

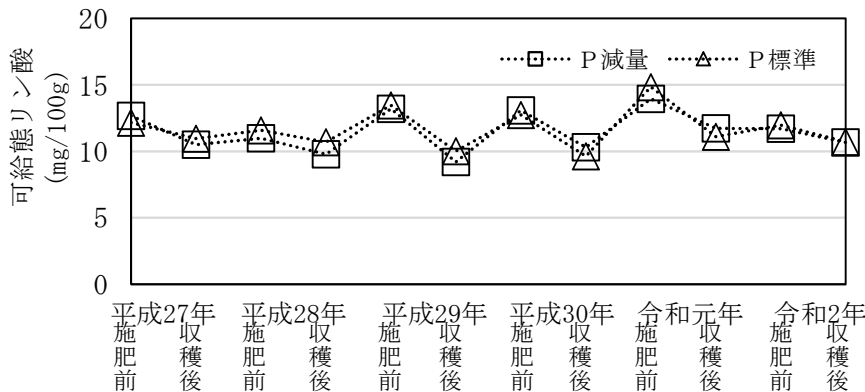
嬬恋村のキャベツ栽培では可給態リン酸が 10 mg/100g以上あればリン酸増肥を省略できる

嬬恋村におけるキャベツ栽培では、土壌の可給態リン酸が10 mg/100g以上あれば、県の施肥基準量どおりのリン酸施肥量(21 kg/10a)で十分な収量が得られ、それ以上に化成肥料や土壌改良材などでリン酸を増肥する必要はない。

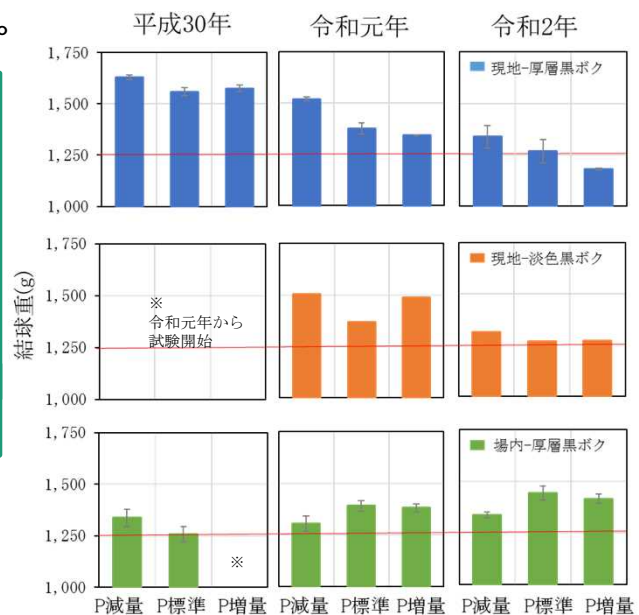
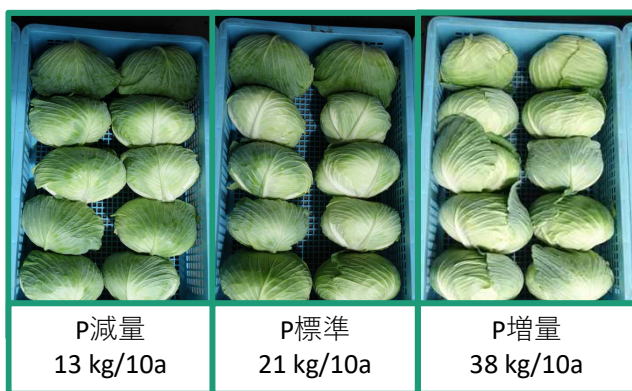
◎ 収穫部分のリン酸含量は5~6 kg/10aのため、計算上はP減量でもリン酸が蓄積。



◎ 少なくとも6年間、可給態リン酸が10 mg/100g以上のほ場でリン酸施肥量をP減量又はP標準として栽培しても作土の可給態リン酸は低下しない。



◎ 土壌の可給態リン酸が10 mg/100g以上のほ場では、リン酸施肥基準量(21 kg/10a)以上に化成肥料や土壌改良材などで増肥しなくても十分な収量が得られる。



※ 1 本試験は畝内局所施肥による。

2 黒ボク土で可給態リン酸が10mg/100g以上での結果のため、定期的に土壌診断を行うこと。

3 リン酸資材(ようりん等)には苦土が含まれるので、削減する場合は苦土の補給に留意する。

群馬県農業技術センター 環境部 土壌保全係 0270-62-1021
高冷地野菜研究センター 0279-96-1011